

一般社団法人 日本私立歯科大学協会
専務理事

羽村 章

日本歯科大学生命歯学部

一般社団法人 **日本私立歯科大学協会**

- 設立：昭和51年（1976年）5月24日
- 加盟校：全ての私立歯科大学／歯学部
 - 15大学／17歯学部
 - 北海道医療大学歯学部、岩手医科大学歯学部、奥羽大学歯学部、明海大学歯学部、東京歯科大学、昭和大学歯学部、日本大学歯学部、日本大学松戸歯学部、日本歯科大学生命歯学部、日本歯科大学新潟生命歯学部、神奈川歯科大学、鶴見大学歯学部、松本歯科大学、朝日大学歯学部、愛知学院大学歯学部、大阪歯科大学、福岡歯科大学

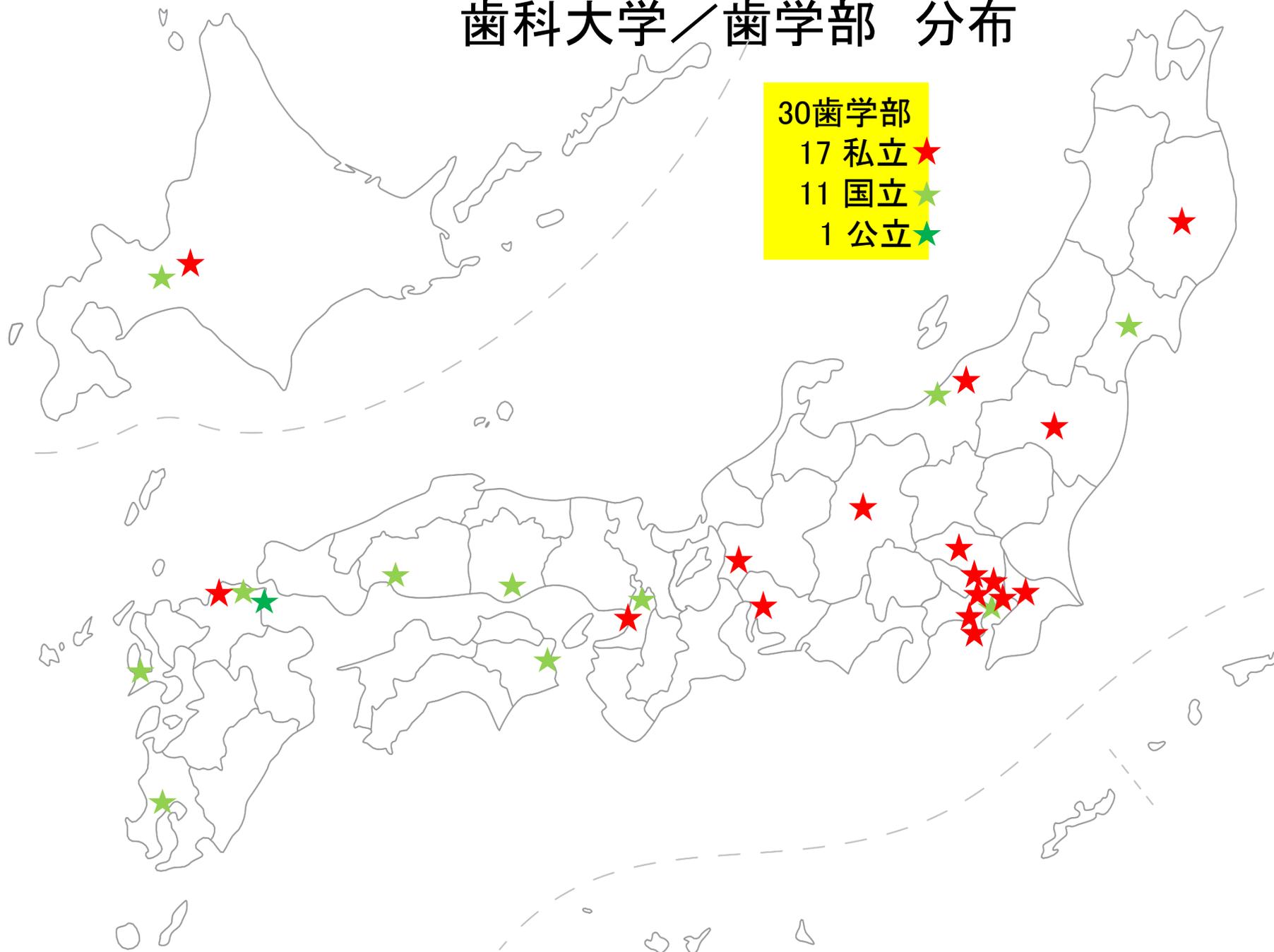
歯学は私学から始まった！

明治39年(1906年)歯科医師法(旧制)が制定され、近代日本で歯科医師の業務と名称の独占資格が得られた。同時に公立私立歯科医学校指定規則が施行され、歯科医学教育も正式に発足された。

しかし歯科は富国強兵には関わらないとして、国は歯科医学校の設立には動かず、明治40年(1907年)に私立が2校開校して以来、常に歯学は私学が先行してきた。尚、最初の国立は昭和3年(1928年)に設立。

- 歯科大学／歯学部数：私立17校、国立11校、公立1校
- 歯科医師数：約10万人中の75%は私立の卒業生

歯科大学／歯学部 分布



日本私立歯科大学協会の活動

私立大学の精神である自立性を尊重しながら、私立歯科大学／歯学部¹の振興を図り、歯科医学の教育／研究／医療の発展のため、下記の事業を行っている。

1. 会報の刊行
2. 私立歯科大学の教職員の研修
3. 私学関係諸団体との提携、協力／援助
4. 歯科医学／歯科医療の現状及び将来に関する情報発信
5. 私立歯科大学における教育／研究、財政基盤、管理運営に関する調査研究

歯科保健と歯科医学教育の変化(1)

戦後の第一次ベビーブームにおいて、口腔衛生思想の普及が十分でなく、口腔清掃習慣も不十分であった。一方、国民の砂糖消費量は増大すると同時に、子ども向けのお菓子類も市場に広く出回ってきた。このような状況の中で、子ども達のむし歯も多くなり「むし歯の洪水」といわれる状況になった。

昭和36年の国民皆保険制度により、国民は歯科医療機関受診が容易となったことから、昭和40年代から50年代にかけて歯科医療機関が不足しているという国民の声が大きくなった。国は国立大学に歯学部を新設しつつ、私立歯科大学・歯学部に入学者増加を要請してきた。

歯科保健と歯科医学教育の変化(2)

その後、健康教育の普及による保護者の意識向上、また年少人口の減少によって、子どもへの健康管理が向上したこと、キシリトールのような非むし菌原性甘味料の台頭、フッ化物の普及によって、むし菌は急激に減少した。一方、高齢者人口の増加により、歯周病や摂食・嚥下障害が増加し、誤嚥性肺炎、顎関節症、口腔がん、口臭、口腔乾燥、などの対象疾患にも変化が出てきている。

歯周病が2型糖尿病、心血管系疾患、肺炎、未熟児・低体重児出産などの全身疾患や全身状態と関連することがわかってきたことから、歯周病の全身に及ぼす影響が重要視されている。口から食べることの大切さは生命維持の基本とされ、QOLの向上、健康寿命の延伸も重要な要素になってきた。

変化する歯科医学

歯科医学・医療は、むし歯や歯周病など歯に関するだけでなく、顎顔面領域の重要な機能である、食べる、話す、そして質の高い生き方、さらに全身の健康との関連にも焦点を合わせている。

歯科大学・歯学部では、従来の歯科医療教育に加え、食べる・話す機能の維持向上や在宅歯科診療、アスリートへの支援など、国民のニーズに応えられる歯科医師養成を行っている。

歯科医師による 新型コロナウイルスワクチン接種対応について

当協会では、日本歯科医師会からの歯科医師による新型コロナワクチン接種への協力依頼を受け、臨時理事会での全会一致を以って5月24日に接種への協力を機関決定しました。10月4日現在での対応状況は下記。

【歯科医師によるワクチン接種の実施:全17大学／学部】

北海道医療大学歯学部 / 岩手医科大学歯学部 / 奥羽大学歯学部 / 明海大学歯学部 / 東京歯科大学 / 昭和大学歯学部 / 日本大学歯学部 / 日本大学松戸歯学部 / 日本歯科大学生命歯学部 / 日本歯科大学新潟生命歯学部 / 神奈川歯科大学 / 鶴見大学歯学部 / 松本歯科大学 / 朝日大学歯学部 / 愛知学院大学歯学部 / 大阪歯科大学 / 福岡歯科大学

【地方公共団体等からの要請によるワクチン接種への協力:14大学／学部】

北海道医療大学歯学部 / 岩手医科大学歯学部 / 奥羽大学歯学部 / 明海大学歯学部 / 東京歯科大学 / 昭和大学歯学部 / 日本歯科大学生命歯学部 / 日本歯科大学新潟生命歯学部 / 神奈川歯科大学 / 松本歯科大学 / 朝日大学歯学部 / 愛知学院大学歯学部 / 大阪歯科大学 / 福岡歯科大学

【大学拠点接種等において地域住民等にも接種:13大学／学部】

北海道医療大学歯学部 / 奥羽大学歯学部 / 明海大学歯学部 / 東京歯科大学 / 日本大学松戸歯学部 / 日本歯科大学生命歯学部 / 日本歯科大学新潟生命歯学部 / 神奈川歯科大学 / 松本歯科大学 / 朝日大学歯学部 / 愛知学院大学歯学部 / 大阪歯科大学 / 福岡歯科大学

過去のセミナー

	講演テーマ	講師	
第1回	「超高齢社会における歯科医師の役割とは」	東京歯科大学 副学長 解剖学講座 教授	井出 吉信
	「歯周病と全身の健康との関係性について」	日本大学歯学部 教授 歯周病学講座 日本歯周病学会理事長	伊藤 公一
第2回	「くらしを守る、いのちを守る口腔機能」	日本歯科大学生命歯学部 附属病院総合診療科 教授 口腔介護／リハビリテーションセンター長	菊谷 武
	「歯科医師は口腔がんのキーパーソン」	昭和大学歯学部顎口腔疾患制御外科学 教授 歯科病院 口腔外科診療科長	新谷 悟
第3回	「不老は口から -アンチエイジング医学の最前線-」	鶴見大学歯学部 病理学講座 教授	斎藤 一郎
	「口から脳と心を見てみれば -口腔機能と脳の科学-」	神奈川歯科大学 名誉教授	小野塚 實
第4回	「肺炎は死因の第3位 -高齢者に多い誤嚥性肺炎と 口腔ケアによる予防-」	福岡歯科大学 口腔歯学部 教授	内藤 徹
	「いのちを守る口腔ケア -急性期病院、大規模災害被災地 における肺炎予防のための口腔ケアの取り組み-」	日本歯科大学 新潟生命歯学部	田中 彰
第5回	「歯科とスポーツを探求する -健康づくりと安全対策 そ してスポーツ／パフォーマンスまで-」	明海大学 学長	安井 利一
	「歯の健康とその後の認知症／転倒／要介護の関係 - 歯科から健康寿命延伸への貢献を目指して-」	神奈川歯科大学大学院 口腔科学講座 社会歯科学分野 教授	山本 龍生

過去のセミナー

	講演テーマ	講師	
第6回	「医歯連携で行う睡眠時無呼吸症候群の治療」	岩手医科大学 歯学部 口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 教授	佐藤 和朗
	「何を食べたいかを脳はどう決めるか -好き嫌いをさせない摂食の脳科学-」	朝日大学歯学部 口腔機能修復学講座 口腔生理学分野	碓 哲崇
第7回	「お口の中のあんな病気、こんな病気 -虫歯と歯周病以外にも驚くほどたくさんの病気が!」	松本医科大学歯学部 口腔病理学講座 教授	長谷川 雅弘
	「口腔病理学から見たASEAN経済共同体後のアジアにおける歯科医療への日本の戦略的役割」	愛知学院大学歯学部 口腔病理学講座 教授	前田 初彦
第8回	「自分では分からない口腔癌」	奥羽大学歯学部 口腔外科学講座 教授	高田 訓
	「歯科治療で進む技術革新の流れ先進医療から生まれたCAD/CAM冠」	北海道医療大学歯学部 口腔機能修復/再建学系 デジタル歯科医学分野 教授	疋田 一洋
第9回	「原因不明の歯痛への対応 -非歯原性歯痛の臨床-」	日本大学松戸歯学部 口腔健康科学講座 顎口腔機能治療学分野 教授	小見山 道
	「歯科医学教育の今とこれから -超高齢化時代の歯科医師を育てる-」	大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授	高橋 一也
第10回	「口や歯の健康を守る唾液の科学」	明海大学保健医療学部 教授	渡部 茂
第11回	「ウイルスに対抗する歯科の重要性」	日本歯科大学附属病院口腔外科 教授	小林 隆太郎
	「私立歯科大学・歯学部における感染対策の現状」	日本私立歯科大学協会常務理事 附属病院感染対策協議会議長(昭和大学歯学部長)	槇 宏太郎